

Weekly Bulletin 2016-2017



RI会長
ジョン F. ジャーム



人類に
奉仕する
ロータリー

静岡東ロータリークラブ

会長／大村幸代 幹事／細川俊彦

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
大村幸代

第 2805 回例会

平成 29 年 4 月 13 日 天候 晴

《司 会》 細川 俊彦 君

《合 唱》 「奉仕の理想」

《BGM》 レ・シルフィード (フレデリック・ショパン)
風変わりな店 (ジヨアッキノ・ロッシニ)

《ゲスト》 一般社団法人 OMOTENASHI 大使養成協会
理事長 福島 範昌 様

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日

4月16日 村松 重治 君
4月18日 高橋 みほ 君

結婚記念日

4月13日 鳥屋原 昇 君
4月15日 足羽 祐治 君
4月17日 山下 勝央 君

《会長挨拶要旨》

「雨にまつわる言葉」



大村 幸代 会長

雨の日が続いています。さくらがようやく咲いたと思ったのに「花散らしの雨」が降ってしまい今年は少し残念に思います。(洗濯が趣味の私は休日に雨だと気分が落ち込みます。)

この時期のこのような雨

を何と呼ぶのでしょうか。はじめに思いつくのは「菜種梅雨」です。でも「春の長雨」ともいいますし「春雨じゃ。濡れていこう」の「春雨」という言い方もあります。さらに「春時雨」や「小糠雨」さらに「花時雨」「桜雨」などなど日本語は「雨」をその降り方や降る時期により様々な言い方で表現します。

そこで、あらためてどのような言葉があるか少し調べてみましたところおおよそ 90 近くの「雨」にまつわる言葉がわかりました。たとえば「春霖」「五月雨」「喜雨」「白雨」「秋霖」「時雨」「氷雨」「片時雨」「村雨」「地雨」...

日本人が雨に関する言葉をこんなに多く持っているのは四季を通じて雨が多いことと農耕民族であったため生活していく上で雨が重要な自然現象だったからだと思います。

...と、ここまではどちらかというと日本人の感性の豊かさゆえの雨にまつわる言葉の豊かさについてですが、ここ数年のゲリラ豪雨は人々の生活や生命までも脅かす威力があります。気象庁の雨に関する予報用語は「やや強い雨」(地面から跳ね返りで足元がぬれる)「強い雨」「激しい雨」(傘をさしていてもぬれる)「非常に激しい雨」「猛烈な雨」(傘が全く役に立たなくなる)となっていますが「強い雨」という予報では側溝や下水が溢れ出し「激しい雨」では山崩れ崖崩れの恐れが発生し、「非常に激しい雨」になるとマンホールから水が噴出し「猛烈な雨」は大規模災害の恐れが強くなるそうです。

洗濯物が乾かなかったり、ゴルフがキャンセルになったりしても、「強い雨」でないなら「花時雨」と思って穏やかに雨を眺めようと思います。

《来賓卓話》

『国際都市 静岡』の実現に向けて 一般社団法人 OMOTENASHI 大使養成協会



理事長 福島 範昌 様

私はバイリンガルを育成する活動に 42 年ほど関わってまいりました。静岡に来たのは 2001 年、孫を含めて家族 8 人で伝馬町に住んでいます。

国際都市静岡を目指そうと言いはじめたのは静岡に来てすぐです。なかなか推進ができず、英語教育だけでは無理だと思い社団法人を立ち上げ色々な方を巻き込んでこれからやっといこうと計画をしています。

なぜ国際都市を目指すのか。静岡の人口はどんどん減少しています。市場も縮小しています。地域の活性化、文化の活性化を含めて地道にやっといかないと起死回生はないと思っています。静岡市長の田辺氏も同じことを言っています。

外から来た私にとってみれば、静岡は本当に魅力的な街

だと思えます。ただ、静岡に住んでいる人はその魅力に気付いていないと思えます。静岡の魅力は日本だけでなく世界に伝えていけば、静岡は国際都市になり得る資格は大いにあると思えます。国際都市に必要な要素として4つ考えています。インフラ、人材育成、PR、資源です。ただ4つがそろっても、うまく連携しないと国際都市として誕生しないものだと思います。

私は東京でも36歳のときに国際交流クラブを立ち上げて、日本人が日本の文化をきちんと世界に発信できるような活動をしていこう、そのような人材を育てようと46歳の頃まで活動を行いました。世界40カ国、2,000人くらいの会員を有してセミナーやディベート、キャンプとかスポーツなど色々な活動をしました。なかなか日本人の英語力が足りないのです。外国の方は真剣に日本のことを知りたい、意見交換をしたいと積極的でした。ところが、キャンプとか楽しいことに日本人は喜んで参加するが、ディベートやディスカッション、セミナーになるとなかなかついていけない。このままではまずいだろうと感じて10年間の活動をストップして、家も売りオーストラリアに行きました。どうすれば日本人が早く高度な英語力を身につけられるかを研究するために行きました。当初は3年くらいの計画でしたが1年で帰ってきました。もう理論はいい実践をしようと考え帰ってきたのです。

その後、静岡で活動しようと思いをしました。静岡である理由はまず魅力ある地方都市であること、東京からも近いこと、歴史文化が豊富である、富士山もある、お茶もある、日本文化がすべてそろっているのです。それであるとは人材育成ではないかと言うことで静岡に参りました。静岡に来てから本を出したり、大使の通訳をしたりしました。

国際交流活動は東京でもやっていますが、実際にインバウンドをもっと活性化すればいいのではないかと考えおもてなし大使養成協会を立ち上げています。インバウンドに関する経験はどのくらいあるかといいますと妙高高原のおもてなし事業研修を担当したことがあります。丁度10年前になります。妙高高原はスキー場で有名ですが10年ほど前のスキー場はガラガラでした。スキー客がどんどん減ってこのままでは大変だということで、民宿とかでは灯油も買えないこともありました。もうクローズするしかない状態になり、観光協会の方が外国人をターゲットにして売り出そうと考えました。そこで私が英語研修を頼まれ活動を行いました。その結果は、当初1シーズンで外国人は100人くらいしかいなかったが、2015年になると5800人、年間では33,000人くらい来るようになりました。しかも滞在日数が結構長い、平均6日、長い方は2週間くらい滞在します。

今、日本ブランドは海外で高い評価を得ています。青森のりんごが台湾では1個500円でも買われます。本場のりんごを本場で食べたいと言うことで青森まで来ているようです。りんごをメインコンテンツとして街を売り出そうというブランディングが成功しているようです。どんな小さい街であっても、あるいは農村であってもやり方次第で外国人を誘致することは可能です。たとえば岐阜羽島では一日一組限定44,000円で刀鍛冶の体験をしています。予約がいっぱいだそうです。

静岡の現状は悪くはないと思えます。2013年外国人観光客が静岡に宿泊したのは32万人、翌年は79万人、2015年

は174万人で増加率は全国1位です。恐らく熱海や伊豆あたりは観光に力を入れていますので、静岡市もチャンスはあると思えます。静岡市でもインバウンドは始まりました。ワゴンタクシーを手配し外国人観光客を乗せてツアーを提供している会社があります。静岡県でも学生をツアーに参加させることが勉強になるということで、単位を与える特別授業を夏休みに行うようになりました。

私は日本の文化を伝えられるバイリンガルの養成を目指しています。通訳ガイドの国家試験がありますが、その試験合格を目指すような活動もやってきました。外国人観光客が増えてくると、きちんとした知識と英語力を持った方を育成していく必要があると思えます。

売り出し方については自然を売り出すこともありますが、他に学校給食があります。日本の学校給食は素晴らしい弁当カルチャーと言われていています。その学校給食を外国人に体験してもらおうとか、子供達と交流してもらおうというやり方もあります。最も大事なことは地域、人、伝統などあらゆる連携をとることで「競争社会」ではなく「共創社会」を作り出していくことが可能だと思います。

そして世界平和への貢献、世界規模で生じている格差や対立。その根底にあるのは、西欧の行き過ぎた自由競争と個人主義的な価値観にあります。「和」「協調」「チームワーク」を大事にする日本人の価値観を世界に広めることにより、西欧の価値観を中和し、世界平和に貢献できると考えています。

《スマイル報告》

大村 幸代 君 先週の観桜会に多数のご出席を頂きありがとうございました。ご準備くださいました親睦委員会と「どえりや面白い落語家さん」をご紹介いただきました河野会員に感謝申し上げます。

川崎 依子 君 本日は英会話学校 ENGLISH BOX の代表であり OMOTENASHI (おもてなし) 大使も養成されている福島範昌 (のりあき) 氏を卓話者としてお招きできたことに感謝してスマイルします。

伊藤 洋一郎 君 福島先生のお話しを楽しみにしていました。

鳥屋原 昇 君 今朝、妻から結婚記念日のお花が届いたとの連絡がありました。20年の節目なのに、すっかり忘れていました。感謝してスマイルします。

村松 重治 君 誕生祝いをありがとうございます。64歳になります。実は嫁が3歳下で同じ誕生日で、今週日曜日に家族でお祝いします。未だ次女が大学2年なのでこれからも頑張らねば…

肥田 隆輔 君 今建設中の常葉大学(草薙)の新築工事で、数億円の大型外壁パネル工事を受注しました。当クラブの河野会員に、御礼と感謝をこめて。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
4/13	51(47)	36	11	-	-	-
4/6	52(48)	37	11	-	-	-
3/30	54(50)	39	11	7	4	92%

(会報作成 佐久間 武)